

松下記念病院の医師が解説！

新型コロナウイルス

今わかっていること

～読者アンケートの質問に答えます～

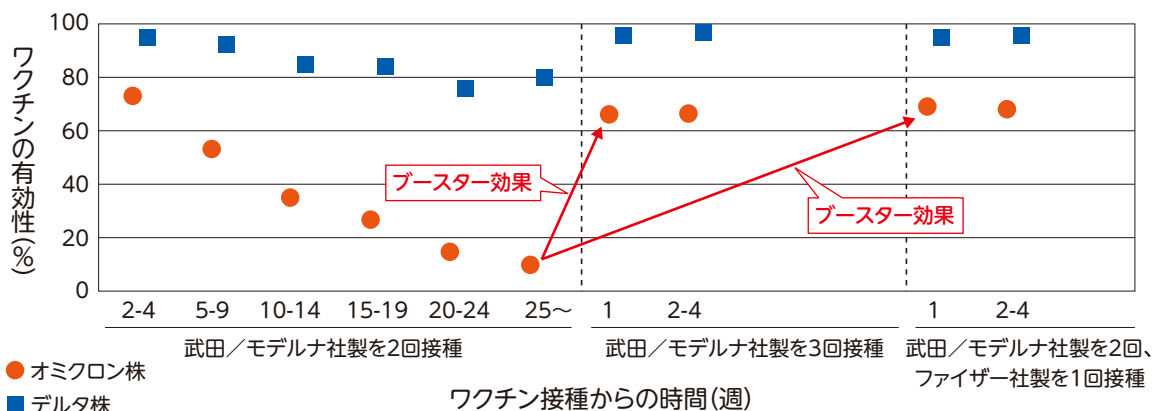


日本救急医学会救急科専門医
日本集中治療医学会集中治療専門医
インフェクション・コントロール・ドクター(ICD)
堀 雅俊先生

ブースター接種の効果は？

前号ではファイザー社製ワクチンのブースター接種の有効性をお示しましたが、今号では武田/モデルナ社製の有効性をご紹介します。

武田/モデルナ社製のワクチンであっても、3回目接種によるブースター効果は得られますし、3回目に違う種類を接種する「交互接種」も有効のようです。



ワクチンの副反応ってどのくらいあるの？

日本で医療機関から国に報告されている副反応※は次のとおりで、頻度は少ないことがわかります。小児(5～11歳)の発生率は12歳以上と比較すると低い傾向です。

種類	集計期間	接種回数	医療機関の副反応疑い報告頻度		
				うち重篤報告	うち死亡報告
ファイザー	2021年2月17日	1回目	0.0161%	0.0040%	0.0007%
)	2回目	0.0157%	0.0029%	0.0006%
	2022年3月20日	3回目	0.0046%	0.0008%	0.0003%
武田/モデルナ	2021年5月22日	1回目	0.0165%	0.0020%	0.0001%
)	2回目	0.0093%	0.0025%	0.0002%
	2022年3月20日	3回目	0.0018%	0.0006%	0.0002%
ファイザー (5～11歳)	2022年2月21日	1回目	0.0028%	0%	0%
)	2022年3月20日				

※副反応：アナフィラキシー、血栓症、心筋炎、心膜炎等

ワクチンを接種した人と接種していない人との差は？

ワクチンを接種した回数に比例して、新型コロナウイルスに感染した場合の重症化率・死亡率が下がっており、特に高齢者で顕著です。若年者は周囲に感染を

広げないために、高齢者はご自身の健康を守るために可能な範囲でワクチンを接種しましょう。

		～30代		40代～60代		70代～	
		重症化率	死亡率	重症化率	死亡率	重症化率	死亡率
ワクチン接種歴	なし	0.01%	0.00%	0.46%	0.19%	6.89%	5.76%
	2回以下	0.00%	0.00%	0.15%	0.06%	3.24%	2.62%
	3回	0.00%	0.00%	0.08%	0.08%	1.37%	1.12%

4回目接種の有効性は？

3回目接種後であっても、時間とともにワクチンの効果が薄れていくことがわかってきています。

いくつかの国では高リスク者への4回目接種が開始されており、日本でも5月から始まりました。

海外(イスラエル)で発表された研究データ(下表)を見ると、3回目接種から時間が経っている**高リスク者にとっては、4回目接種の意義はありそう**です。

4回目接種した人は、3回目接種から4ヵ月以上経った人と比べて…

検査陽性もしくは軽症になるリスク	45～55%低下
入院・重症化するリスク	62～68%低下
死亡リスク	74%低下

※60歳以上、4回目接種から7～30日の間



新型コロナウイルスの株ごとの流行状況は？

現在、世界中でほぼすべての新型コロナウイルスがオミクロン株に置き換わっています。2022年4月時点で、過去30日以内に解析された株では**99.5%がオミクロン株**でした。

日本でも**すべてオミクロン株に置き換わっており**、しかも**そのうち90%がBA.2系統**に置き換わっていると推定されています。